

マンモグラフィ(乳房X線撮影)検査についてご存知ですか？

乳房を調べるためにいくつかの検査があります。マンモグラフィ検査はその中のひとつです。専用の装置により乳房を片方ずつ、フィルムを入れた台と透明なアクリルの板で、上下や斜めなどからはさんで(圧迫といいます)撮影する検査です。

・マンモグラフィとは

乳房のエックス線撮影のことを、マンモグラフィと呼んでいます。(マンモとは乳房を意味するマンマからきています)マンモグラフィは、胸部のエックス線撮影などと原理は同じく、少量のエックス線を乳房に当てて、その吸収の差により写真を作り出します。

・マンモグラフィは何を見ているのか

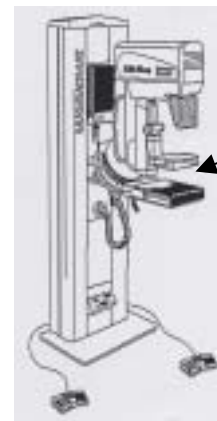
乳房は大きく分けると乳腺組織と脂肪からなっており、マンモグラフィはこの二つの組織の状態を全体的に観ることができ、初期乳房の病気に現れることがある、とても小さい石灰化(カルシウム)を写しだすのが得意です。

・検査の流れ

1. 放射線科受付にてリーフレットをお渡しします。
2. 更衣室に入り、上半身を脱衣しタオルを羽織って準備します。
3. 検査室に入り、技師により検査前の説明をいたします。
4. 乳房を圧迫しながら撮影します。
5. 写真を確認して検査終了です。

・どうして乳房を圧迫するの？

乳房内の組織をできる限り正確な写真にするためにおこないます。
動きによるボケが防止できます。
被ばく線量がすくなくなります。



この間に乳房をいれて圧迫します。

圧迫すると個人差はありますが痛みを伴います、がまんできる範囲で撮影いたします。

・注意点

乳房にシッカロール・制汗剤などを塗ってある場合、写真に写ることがあります。
乳房は排卵後から月経が始まる頃までホルモンによって影響を受け、硬くなったりします。
生理が終わって1週間ぐらいの期間に検査を受けると、圧迫による痛みは緩和されます。

この検査を受けたい方は、かかりつけ医(主治医)にご相談して下さい。

「多摩南ミニ通信」をご希望の方は面会受付にお申し出ください。